

①要約：

このアイデアは、サイバーセキュリティを向上させるために人工知能を使用し、工場内のプログラマブルロジックコントローラー（PLC）を保護することを目的としています。学習モードと保護モードを組み合わせて異常を検知し、防護措置を行う仕組みを提供しています。

②目的：

このアイデアの目的は工場内のセキュリティを向上させるために、人工知能を用いて PLC の機械学習を行い、サイバー攻撃を検出し、防ぐことです。正常状態と異常状態の分類、遷移確率の算出、アラートや防護措置の実行を通じて、工場の安全性を確保することを目指しています。

③新規性：

このアイデアの新規性は、工場内の PLC セキュリティに焦点を当て、人工知能と機械学習を利用してセキュリティ対策を行う点にあります。特に、学習モードと保護モードの組み合わせや PLC の遷移確率を考慮したアラートシステムは新しいアプローチです。

④独自性：

このアイデアの独自性は、サイバーセキュリティと産業制御システムの組み合わせにあります。この会社は政府機関や産業施設に導入されている実績を持つ専門企業としての独自性もあります。

⑤経済価値：

このアイデアは工場のセキュリティを向上させることで、機密情報や設備の保護、サイバー攻撃による被害の軽減を図ることができます。これにより、生産停止や情報漏洩による経済的損害を防ぎ、生産性を向上させることができるため、経済的価値を持つアイデアと言えます。